

オージックグループ(6168)

営業利益黒字転換。中小製造業M&Aプラットフォームとして経営管理を強化

TOKYO PRO Market | 金属製品・金物 | 業績フォロー

BLOOMBERG 6168:JP | REUTERS 6168.T

- 2022/6通期は、売上高が前期比31.6%増の47.3億円、当期純利益が同44.5%減の1.7億円の増収減益も、営業利益と経常利益は黒字転換。
- デジタル受注率や海外売上比率、一人当たりの売上や粗利、生産・管理における工数削減などの数値目標を設定し、経営改革を急ぐ。

What is the news?

2022/6通期は、売上高が前期比31.6%増の47.3億円、営業利益が前期の▲3.29億円から61百万円へ、経常利益が同▲2.58億円から80百万円へ黒字転換。一方、前期に計上した特別利益縮小の影響により、当期純利益は前期比44.5%減の1.7億円で着地した。年間配当は無配(同6円の減配)。

2022年6月に新規に富山県の自動車・工作機械用部品等の切除加工会社である株式会社広進工業を連結子会社として取得。連結決算への組入れは来期となるが、取得にかかった費用等は当期に計上されている。

2022年9月30日発表の2023/6期連結業績予想では、広進工業の連結取込みと海外売上比率拡大、およびデジタル受注の増加により、売上高54.1億円(前期比14.5%増)、人件費やIT投資の負担増により営業利益65百万円(同1.2%増)、助成金などの縮小により純利益は1.2億円(同31.3%減)となる見通し。配当については未定としている。

How do we view this?

本決算では、一部の傘下企業の決算月変更に伴い対象グループ企業の前期5~6月業績を算入した他、広進工業の買収に関わるM&A費用計上があった。これらを除けば、M&A活動がもたらす損益計算書へのインパクトは例年に比べて少なかったと言える。そのため、当期の売上高や粗利率、営業利益といった業績数値は、現在のオージックグループ本来の収益力や改革効果を反映したものと見る余地がある。

9/28発表の23/6期-25/6期の中期経営計画では、1人当たり売上高と粗利の目標を各々17百万円と5百万円、デジタル受注を全体の10%まで拡大、25年6月期の連結粗利率28.3%、連結営業利益率14.2%を目指す。世界的な中小企業連合となる方針も継続する見通し。3年後社内管理体制に関し、東証スタンダード市場上場準備の整備完了を目標とする。

同計画での25/6期までの目標は、売上高71.4億円、営業利益10.1億円、当期純利益6.6億円となる。売上高は年14-15%の増加による堅調な推移で達成だが、営業利益は黒字転換直後とはいえ、22年実績に対しては16倍となることから、更なる経営効率化が求められる。

海外売上高比率30%超目標の達成可能性、売上・利益へのインパクトについては為替レートの影響やインフレ予想に左右されやすいと言える。中期計画にて標榜された施策に加え、為替や原材料へのヘッジ体制強化、多品種に渡る工業用精密部品の収益性管理、機動的な価格変更や受注単位大口化といった商品政策や販売管理体制の強化も必要となろう。

業績推移

| 事業年度 | 2020/6 | 2021/6 | 2022/6 | 2023/6F |
|-----------|--------|----------|----------|---------|
| 売上高(百万円) | 3,739 | 3,596 | 4,731 | 5,417 |
| 経常利益(百万円) | ▲173 | ▲258 | 80 | 74 |
| 当期利益(百万円) | 257 | 319 | 177 | 121 |
| EPS(円) | 237.37 | 245.46 | 185.72 | 156.40 |
| PER(倍) | 2.05 | 1.98 | 2.62 | 3.11 |
| BPS(円) | 790.75 | 1,033.49 | 1,628.07 | - |
| PBR(倍) | 0.61 | 0.47 | 0.30 | - |
| 配当(円) | 6.00 | 6.00 | 0.00 | - |
| 配当利回り(%) | 1.23 | 1.23 | 0.00 | - |

(※)2020/5/15付で普通株式20,000株を1株とする株式併合を実施。
 同年12/10付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施。
 (出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

フィリップ証券株式会社

配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 486 2022/10/28(基準値)

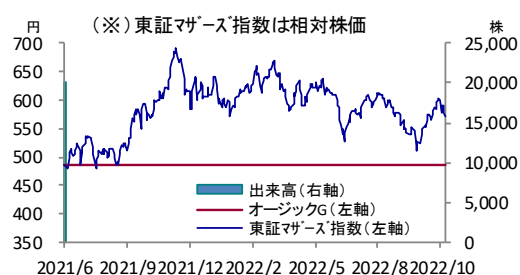
会社概要

1933年8月に田中栄蔵が中井齒切工業を創業。同社は1938年に松下電器産業の子会社である松下金属工業に吸収された後、1952年に田中栄蔵が10%を出資し、金属加工を目的とする大阪齒車工作所を設立。その後、1970年に松下電器産業から独立し、1991年に社名をオージックに変更した。一方で、1976年に精密歯車の販売を営む日本標準歯車販売を設立し、2019年にオージックグループに商号を変更。2020年に両社間の株式交換により、オージックを子会社化した。

オージックは積極的な企業買収を展開。2013年に台湾で江陵有限公司(JLTA)を設立、同年に精密機械加工・試作品製造のイセキテックの株式を取得。その後も、2016年に金属パイプ加工のセイエン、2017年に精密部品加工の鍛冶屋、2018年に精密微細加工の三翔精工、2019年に大型ねじ等製造の美原精工、および、2020年に難削材切削加工のフジタイトの株式を取得。2021年5月に鍛冶屋および美原精工を吸収合併した。

同社グループは「精密歯車製造および精密部品加工事業」、「金属パイプ加工事業」、「精密微細加工事業」、「大型ねじ等製造事業」、「難削材切削加工事業」、および、中国と台湾で同社グループ製品の販売代行を行う「その他事業」の6事業による独立採算色の強い事業部制組織に基づく経営を行っている。2021年6月30日にTOKYO PRO Marketに新規上場を果たした。

企業データ



(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

主要株主(2022/9/29) (%)
 1. 田中 文彦 83.21
 2. 田中 純子 11.50

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

三角 友幸

tomoyuki.misumi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 三角友幸

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っていません。